

組換え免疫細胞グルカン受容体を用いた免疫賦活食品・飼料の開発

研究者	農学部 応用生物化学科	氏田 稔 教授	主な経歴 ・1995年 博士(農学)(名古屋大学) ・2012年 名城大学 農学部 応用生物化学科 生物化学研究室 教授
	名前		
専門分野	生物化学、遺伝子工学、食品免疫学		所属学会 日本農芸化学会、日本生化学会、日本糖質学会、日本生物工学会、日本食品科学工学会など



キーワード 組換えβ-グルカン受容体, 免疫賦活食品, 免疫賦活飼料



免疫細胞β-グルカン受容体の厳密な結合特異性を利用して、ヒト・ニワトリ・ウズラの免疫力を向上させる健康食品・機能性食品・サプリメント・免疫賦活飼料などを開発するとともに免疫賦活作用の科学的な評価系を確立する。また、β-グルカンを含むキノコや食品製造副産物を飼料として利用し、高品質のブランド食卵を開発する。これらの研究は同時に、高価なワクチンに依存しない鳥インフルエンザの予防、養鶏や養鶉における抗生物質の使用量・コストの削減、安全・安心な食品の開発などにつながるものである。

・Ujita, M., Koike, S., Yamauchi, Y., Kiochi, N., Yura, H., Yamanaka, M., and Okumura, H., Functional expression of recombinant human macrophage beta-glucan receptor dectin-1 using baculovirus-silkworm expression system. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 78, 1203-1205 (2014).

・Ujita, M., Nagayama, H., Kanie, S., Koike, S., Ikeyama, Y., Ozaki, T., and Okumura, H., Carbohydrate binding specificity of recombinant human macrophage beta-glucan receptor dectin-1. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 73, 237-240 (2009).